

中部経済新聞

2021年(令和3年)
8月10日
火曜日

ひと言

○：「手探りだが、車両電動化への対応を進めている」と強調するのはアイコクアルファ(本社稲沢市)社長の樋田克史



さん。その一環で等速ジョイントの構成部品、インナーレースで高強度製品の開発を進めている。加えて、減速機向けには冷間鍛造で成形する歯車の開発にも着手している。「冷間鍛造に

創業の地で地元貢献

よる歯車は、高い価格競争力や伝達効率を確保できるとみている。冷間鍛造の技術を一層磨きたい」と力を込める。

○：将来を見据えた取り組みを進める一方、創業の地であった工場の跡地には多目的広場「いこいの広場」を開設した。「創業の地のため、地元に貢献できる場所にしたかった」と広場への思いを語る。足元で家族連れ中心に1日50〜100人が訪れ、早くも地域に親しまれる場所になっている。広場には創業家3代目の故樋田成二氏の名を冠したメモリアルホールを設けており、「近くの小学校の児童が授業で訪れ、歴史を学んでくれている。当社に興味を持つきっかけになってほしい」と話す。